

雨水・和泉川水測定 2017年 7月

東山の水辺

日(曜)	時刻	水位	流速	流量	雨量	気温	水温	pH	電導率	その他(生物、透視度等)						
										cm	目視	m3/分	mm	°C	°C	マイクロS
1 土	18:20	14.6			1	23.5	24.0	7.5	171				6	1	ドジョウ特大1大1	
2 日	18:10	14.5			2	26.7	26.6	7.0	200				1	1	ドジョウ特大1 タモロコ1 ジムグリ幼1 カルガモ1	
3 月	17:35	16.7				30.4	29.1	7.1	193				4			カルガモ1
4 火	18:05	16.5			0	26.4	26.9	7.3	230				4		ドジョウ大1 サホコカゲロウ1	
5 水	18:10	17.1			43	27.7	27.4	7.4	143				1	1		雨66c
6 木	18:05	16.2				26.1	27.1	7.4	230				6	6	ドジョウ大1	カルガモ1
7 金	17:55	17.2				26.4	29.2	7.2	220	1			8	7	ドジョウ大1 ヤゴ(シオカラ)1	
8 土	18:45	12.0				25.6	27.5	7.3	230				5	1	ドジョウ大1	
9 日	18:45	10.6				25.9	28.5	7.4	240				10	9	タモロコ小1	
10 月	18:30	15.0				26.5	30.0	7.6	250	1			19	8		ヒグラシ(初鳴き)
11 火	18:30	14.1				26.8	29.9	7.4	240	1			17	20		
12 水	18:30	14.8				28.0	31.0	7.6	280				21	22	サホコカゲロウ1 カルガモ親子	ヒグラシ
13 木	18:15	14.7			0	26.6	—	7.6	240				25	81		
14 金	18:20	15.6				27.0	30.6	7.8	270				23	55		
15 土	18:20	干上り				28.6				1			28	65		
16 日	18:20	干上り				29.8				3			33	107		
17 月	18:10	干上り				31.0							140	3		
18 火	18:50				65	24.6							—		雷雨	
19 水	18:00	17.2	薄泥濁			26.1	29.2	7.9	174				11			
20 木	18:10	17.5	滯水			27.7	30.4	7.9	160				4			
21 金	18:00		干上り			29.4							4			
22 土	18:10		干上り			28.5							4		メダカ大1	
23 日	18:05		干上り		0	26.9							24	2	アメンボ4	雨0c ヒグラシ(鳴)
24 月			干上り										5			アカトンボ多 ヒグラシ(鳴)
25 火	17:55		干上り			30.3									干上り	
26 水	18:00	20.2	薄泥濁		8	24.4	26.4	7.9	114				7			雨11c アブラゼミ(鳴)
27 木	17:50		干上り			26.8							8	1	ドジョウ1 メダカ1	ツクツク(初鳴)
28 金	17:50		干上り			29.1							6	2		ハグロトンボ1
29 土	17:45		干上り		0	27.0							9		アメンボ3	ヒグラシ(多鳴)
30 日	17:40	20.6			73	26.6	26.5	8.4	114				7		ドジョウ大2 雨107c ヒグラシ(多鳴)	
31 月	18:10	18.1	薄滞水			28.5	29.7	7.6	210				12		ドジョウ1	ヒグラシ(多鳴)
計		16.0	良O		192	27.3	28.3	7.5	206	7	452	392	ドジョウ11	タモロコ2	クロメダカ2	

特記

梅雨中にもかかわらず雨量が少なく短時間にまとめて降ってしまうので、安定した水位を保つことが出来ない。上流側がヨシの繁茂によって流れが止められたり、河床が浸透しやすいつくりになっていたりして、干上りが11日もあり良流はOであった。このような状況は今後も続くのだろうか。干上り解消後、真っ先に復活してくるのはアメリカザリガニとドジョウである。ともに少しの湿り気があれば生きていける種である。毎年観察されていたモクズガニはこの干上りでは残念ながら上がって来れないであろう。ブタクサ狩りは7月中に右岸だけ完了できた。花粉を持つ前に左岸も終了したい。